

No.127 (不定期刊)

“Great Wall” Street Journal

# 長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社  
上海駐在員事務所 所長  
奥山 要一郎  
2007年入社。本社シニアストラテジ  
スト等を経て、2015年より現職

## 世にも奇妙な料金システム

「同じ日の同じ部屋なのに料金が違う」——。スマートフォンで旅行アプリでホテル予約をした際の出来事だ。たまたま友人と同時に検索し、利用者によって異なる料金体系が表示されることを発見した。「これが噂に聞いていた『殺熟』か……」。

★ ★ ★ ★ ★

「殺熟（シャーシュー）」とは中国語で「馴染みの客を騙す」という意味。新規顧客には低料金を提示して囲い込みを行い、既存顧客には高い料金を払わせて利益を確保する狙いがある。「老客户」（馴染みの客）は高くても買うだろうという安易な営業スタンスなのだろうか。ダイナミックプライシングとさえ聞こえはいいが、客の足元を見たあこぎな商売。ビッグデータやアルゴリズムをある意味悪用した行為は消費者をバカにしているとも言える。

この行為、ネット通販、フードデリバリー、スーパー、配車などの業界でも横行している。いずれもスマホ内で完結してしまうニュービジネス。店と消費者のクローズドなやり取りなので、他の消費者と比べる術は少ない。しかし、この事実が明らかになるにつれ消費者の不満の声が高まっている。

中国の市場管理当局は今年4月、インターネットプラットフォーム企業を対象に行政指導会議を行い、「殺熟」などの公平な市場競争を阻害する行為を厳しく批判した。呼び出しを食らった企業は、京東、快手、美团、携程、アリババ、テンセントなどのネット大手。市場の独占行為は許さないぞ！と政府からお灸を据えられたわけだ。

それにしても、中国の消費シーンは不公平感にまみれている。より正確に言えば「カネを積んだものが有利」となる。例えば配車アプリ。ラッシュ時や悪天候時は追加料金を払わないと車が来てくれない。数年前までは利用者が追加料金を事前申告し、その多寡によりドライバーが客を選ぶ行為すらあつ

た。「客Aは10元プラスしてくれるけど、20元追加で払ってくれる客Bを受注しよう」。こんなイメージだ。さすがに行き過ぎだったので規制が入ったが、当時は「配車の沙汰も金次第」とよく思ったものだ。

鉄道チケット購入時もカネがモノを言う。「搶票（チアンピャオ）」という「キャンセル待ち」「奪い合い」のシステム。乗りたい列車が満席の場合、スマホ上でこれを活用するのだが、チケット販売代行の旅行アプリはご丁寧に「5元払うと購入しやすくなります」などと案内してくる。カネを積みあげチケット購入の「割り込み」「横取り」ができるものなのか。何ともまあ、中国らしいやり方だ。

その割り込みは中国語で「插隊（チャードウイ）」という。最近、ワクチン接種の会場で時々起きている。大量の市民が病院や接種会場に押し寄せ、我先にと列を乱して大混乱に陥り、ひどい場合は殴り合いのけんかになる光景がネット動画で流れていた。私の知り合いは「朝4時に家を出て、接種会場に着いたのは6時。すでに長蛇の列。そこから割り込み客との『争い』を経て、接種完了したのは9時過ぎ」とSNSに投稿。予約なしで気軽に受けられるのが中国ワクチン接種のメリットだが、8億回を超えた接種回数の上には様々なストーリーがあるらしい。

★ ★ ★ ★ ★

さて、配車アプリをよく使う私は、使用回数が評価されたのか、今やゴールドを超えてプラチナ会員だ（ハードルは低く誰でもなれるので、プラチナ客はごまんという）。車を呼ぶ際の特典は「割り込み」。客が多い時間帯はアプリ上に「30人待ち/40分待ち」などと表示されるが、最近はそのほど待たなくても車が来てくれる。上級会員には優先的に配車されるシステムなのだろう。ああ、何とも言えない優越感。知らない間に、私もこの不公平社会の受益者になっていた。社会主義を標榜する国で繰り広げられる市場経済の最前線。ふむ、悪くないだろう……。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

## ◆ 注 意 事 項 ◆

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 1.1000%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客様に提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

### 利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

#### 【免責事項等】

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できるとされる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号

◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1

TEL 03 (5117) 1040

<https://www.toyo-sec.co.jp/>

2021 年 6 月 15 日  
審査部審査済